

3-11から

女性の視点 一上

東日本大震災によって、日本では、さまざまな所に、ほころびや亀裂が生じた。それは九カ月近くたった今も修復できていない。どのようにじっくり直していくべきか。女性の視点から今の日本をみつめ、将来に向けたヒントを探ってみよう。

三月十一日、東京に
出張中だった元部下か
ら電話でたたき起こさ
れ、震災のことを知り
ました。ただ、この部
下は「日本はすごい」
まだ大きな余震がある
のに、みんなで助け合
い、落ち着いて行動し
ている」と。他の国で
は災害後の暴動や略奪
のような人災で命を落
とす人が多いのを体験
しているからです。

「日本では暴動など
が起きないから安心し
ていいのよ」と言っ
て、はっとしました。
こいつのことを考える
国って自分の国しか
ない。日本人として生
まえるというDNAが備
わっている。これは日
本だけの話ではありま
せん。インドのシン首
相も「女性は捨て身に
なれる」と言っています
すよ。だから良い民主
主義を目指すとき、も
っと女性の政治家が出
なくてはならない。女
性が議員の半分になっ
たら、政治文化も変わ
ると思います。

政治、行政の役割は一
人一人が幸福を追求で
きるように公的な障
害を除くことです。日本
の憲法も二三条で、国
民の幸福追求権を最大
限尊重するとうたって
います。でも日本は明
治の富国強兵以来「国
民の幸福」は空っぽの
スローガンで、経済成
長を目的としてきた。
結果、自然や家族や地
域社会の絆を破壊して
きた。震災を受けて日
本国民は気づいたと思
うんです。本当の豊か
さって何だろうって。

「幸福」復興の原点に

世界銀行で働き復興
支援をする中で、住民
の意思が反映されない
手をつなぎ、地域の夢
くるのがいい形です。

国が中国、インドには
生まれたいです。武器
規、写真・木口慎子



世銀元副総裁 西水 美恵子さん

にしみず・みえこ 1948年大阪府生まれ。米カウ
チャー大卒、ジョンズ・ホプキンス大大学院博士課
程修了。80年に世界銀行入行。97年、日本人女性で
初めて副総裁に就任し、南アジア諸国の支援を手掛
けた。退任後は主に米ワシントンと英領バージン諸
島に暮らす。シンクタンク・ソフィアバンクパート
ナー。著書に「国をつくるという仕事」など。

お金だけ動いて汚いと
ころにいくと良くなる
から人間の幸せを中心
に考える。GNHはプ
ータンが国家安全保障
戦略そのものです。

私はプータンという
国に出会って目覚めま
した。先日、ワンチュ
ク国王が来日されたの
で、プータンの国民総
幸福量（GNH）とい
う考えは日本でも有名
になりましたね。言い
始めたのは父君のジグ
メ・シンゲ・ワンチュ
ク前国王です。（前国
王）陛下はGNHにつ
いて「世界史では、い
つも不幸せな国民が国
家をだめにする。国民
が幸せを追求できるよ
うに国を治めるのは当
たり前のことだ」と言
っておられます。
人口七十万、面積
は九州ぐらいの小さな
国が中国、インドには
生まれたいです。武器
規、写真・木口慎子